

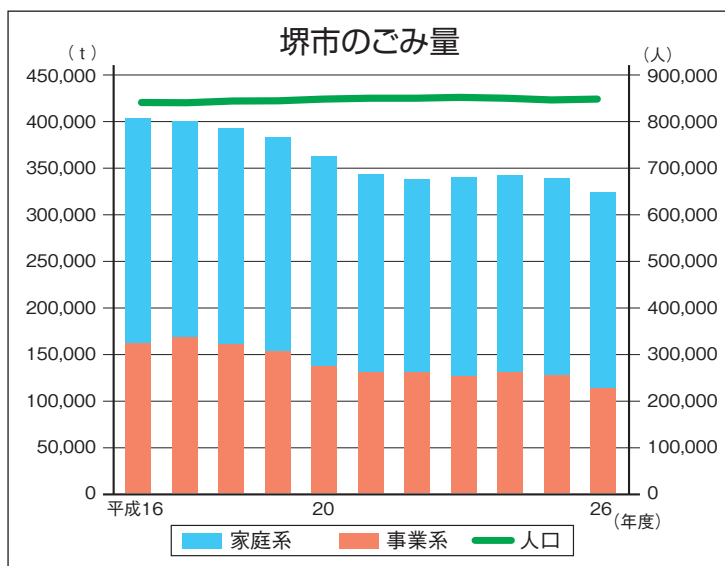
## 事業系ごみ減量情報紙創刊

この度、事業系ごみの減量化・資源化等をわかりやすく皆さんに知っていただくため、事業系ごみ減量情報紙「堺ムーSTYLE」を創刊することになりました。

# 平成26年度のごみ量は約32.5万トン うち事業系ごみ量\*は約11.4万トン

\*環境系ごみ量（公園や街路から発生する剪定枝や環境美化ごみの量）約0.6万トンを含みます。

本市では、ごみ処理基本計画において、平成27年度までにごみを約34.7万トンに減らすことを目標に掲げ、様々な取組みを進めてきました。平成26年度のごみ量は約32.5万トンで、ごみ処理基本計画策定時（平成16年度）の約40.3万トンと比べると、皆様の協力により約2割のごみを減量することができました。施設の老朽化や最終処分場の残余年数のひっ迫などから、今後もさらなるごみの減量が必要であるため、引き続き、ごみの減量と資源化へのご理解とご協力をお願いします。



## ☆ごみを減らすには？ 4つの『R』の実行が重要です！

本市では、ごみ減量のために、ごみの『4R運動』を推進しています。4つのRを基本に、事業活動と環境との調和が図られるようお願いいたします。今回から4回に分けて、優先順位の高い順に紹介していきます。

一番最初は、**Refuse (リフューズ)**・・・

ごみになるものは**元から断つ！**

例えば

- ◆ 荷物の運搬には、段ボールを使用せず通い箱などを使用する。
- ◆ 製造過程を見直すなどして不良品の発生率の低下を図る。
- ◆ 無駄なものや過剰な仕入れをしない。
- ◆ 過剰包装を控え、簡易包装を推進する。
- ◆ 書類や文房具などを共有化して使用する。など

**Reduce (リデュース)**

ごみとなるものを減量する

**Reuse (リユース)**

繰り返し使う

**Recycle (リサイクル)**

資源として再利用する



